

環境まちづくり 会報

編集・発行／入間市環境まちづくり会議

総会後の意見交換会、 有意義な意見が続出

環境まちづくり会議の総会と意見交換会が、五月二八日（火）入間市産業文化センターにて行われました。

総会は、十三年度の収支決算と十四年度事業の収支予算案などについて討議され、十四年度は市より補助金が前年度より二〇万円増額し、八〇万円で事業を転回することになりました。

本年度の事業内容は、環境市民講座の開催や環境ウォークの開催、交流会や意見交換会の開催、会報の発行などとなっています。

総会の後、意見交換会が行われ、当まちづくり会議の運営方法や情報の収集と発信についてなど、多くの方々から有意義な意見が上がりました。

部会立上げの話も検討され、行動宣言の27項目などのように細分化するのか、もっと大きな枠組みにするのかなど、議論がなされた。運営委員会では、これらの意見を参考に運営方法の検討を行います。

意見交換会での意見を2、3紹介します。

「環境問題への意識啓発を最優先に」

前回会報に同封した会員証のステッカーですが、皆さんはどうされていますか？

さっそく貼ってください方がいきましたので、今日は紹介いたします。写真にあるように、お店のガラスや、車の窓など、ぜひ、目につきやすいところに貼っていただき、入間市民がこのステッカーを見ただけで「あ、環境まちづくり会議の会員なんだ」とすぐわかるような、そして、環境にやさしいまち入間を一緒に考えていけたらと思っております。まだ封筒の中で眠っています。



会員証 兼 啓発用ステッカー

貼って下さい ステッカー

先に
「部会を立上げ、ゴミ問題、丘陵の保全とか、ある程度しぼる」
「当会議が、情報交換、意識を共有する場に」
「既存の市民団体との共同行動が大切」

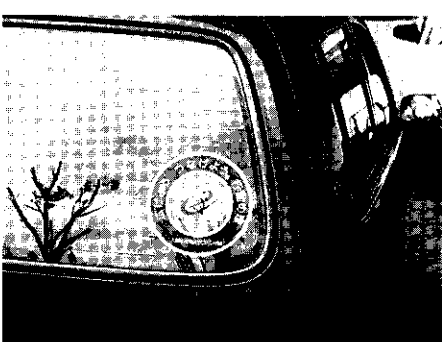
環境ウォーキング実施 内容決定

環境まちづくり会議運営委員会が、七月五日、市役所で行われ、十四年度事業である環境ウォーキングについてや意見交換会について、また、会報についてなどが検討されました。



店のドアーにも▲▼

▼車にも



環境ウォーキング大会

環境ウォーキング大会は、「歩いて知る、わがまち入間の環境」をテーマに、11月16日（土）に散策コースや健脚コースなど5コースが設定され、まちづくり会議会員の全員参加と一般市民のより多くの参加を呼びかけることになりました。計画では、集合地の農村環境改善センターで芋煮会も予定されています。

詳細は、後日発表の市広報紙や参加呼びかけのチラシなどを見て下さい。

温暖化の危険

増え続ける二酸化炭素(CO₂)

環境激変？人類はブジか？



熱射病増え、高まる老人の死亡率
南日本の米は大幅に減収、海の幸も不漁

増える高潮被害
環境73

50年後、あなたは生きていないかもしれない。
でも、あなたの子供は、孫は50年後も100年後も生きています。
あなたは、あなたで終わりではなく、
子として、孫として生きています。
温暖化した過激な気候の地球に
あなたは生きていますか。

環境省発表のPR紙

(当時環境庁)

増え続ける二酸化炭素(CO₂)

熱射病が増え、高まる老人の死亡率
南日本の米は大幅に減収

海の幸も不漁

猛暑で渇水

深刻な水不足

世界的な食糧不足

マラリアなど感染症が流行

日本の浜辺が60%消失

温暖化防止になる

▲平成9年に環境庁が監修発表した温暖化の危険を警告したPR紙

▶平成14年7月 省エネルギーセンター発表
すべての家庭で冷房の設定温度を1度上げると地球温暖化の原因となる、二酸化炭素(CO₂)の排出量を53万5千トン減らせる。



環境にやさしい行動宣言をしよう

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-------------------------|------------------------|--------------------|--------------------------|----------------|-------------------|--------------------|---------------------|---------------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|------------------|---------------|---------------------|-------------------|------------------------|----------------------------|------------------------|-------------------|------------------------|-------------------|-----------------------|------------------------|-----------------|
| 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| その他(項目にない宣言でも結構です。) | 情報メディアを利用して環境の大切さを伝えます。 | 草花を育て、地域や職場などの緑化に努めます。 | 丘陵地や河川沿いの緑を大切にします。 | 生活や事業活動から生じる排水を適正に処理します。 | 安全な建材の使用に努めます。 | 騒音や振動、悪臭の防止に努めます。 | 有害化学物質による汚染を防止します。 | 廃棄物の排出抑制や適正処理に努めます。 | ごみ減量・リサイクル活動などに積極的に参加します。 | ルールを守りごみの分別を徹底します。 | 空き缶やたばこのポイ捨ては絶対にしません。 | なるべくエコマークのついた商品を購入します。 | マイバッグ(買い物袋)を持つ習慣をつけます。 | レジ袋やブックカバーを断ります。 | 商品の簡易包装に努めます。 | 環境に配慮した商品の品揃えに努めます。 | 宣伝用チラシは再生紙を使用します。 | 節水や雨水利用に努め、水を大切に使用します。 | 使わないときは主電源を切り、節電や省エネに努めます。 | 環境負荷の少ない製品の製造や販売に努めます。 | アイドリングストップを実践します。 | 車の使用を極力控え、バスや電車を利用します。 | 低公害車の導入を積極的に進めます。 | 農薬や化学肥料、除草剤の使用を減らします。 | 環境にやさしい農産物の生産や購入に努めます。 | 農地や平地林の保全に努めます。 |

環境にやさしい行動宣言は、皆さんが自ら行っている環境に配慮した行動を改めて宣言することです。環境に対する意識をより高める効果や人間市環境基本計画とのつながりを実感したり、仲間と達成感を共有することもできます。

会員の声

環境問題の意識を高め、「心の環境まちづくり」を

◀平地林と摒ぞいに捨てられたゴミ

8月末に国連主催の環境・開発サミットが南アフリカで開かれる。「持続可能な開発のための教育の10年」にとの提案が、世界実施文書草案に日本のNGOとして初めて採用されることとなり喜びである。21世紀、人類が直面する地球規模の問題は深



刻化し、解決への道が模索されている。環境世界サミットから学ぶものが多いと考えます。

環境問題に関心を持ち行動して、学んだことは勇氣、対話、持続と思う。環境意識を啓発することが環境意識人口を増やすこととなる。始めは無形で見えないが、10年20年の時が経ち有形となつて環境に守られる。30年前、緑化推進市民会議を立ち上げ、多くの青年が賛同してくれた。樹木保存条例制定を形にすることができた。数年前、保存条例で守られた桜の木に思いもかけない出来事があった。桜を守る皆さんが、突然変異の花弁を持つ世界で一本しかない新種であることを発見した。花弁が長いので、旗桜と命名され桜年鑑に登録された。

裏の雑木林との関わり

現在、私の住んでいる東町団地は南側、東側、北側の三方を雑木林に囲まれています。私の住む棟からは北側の雑木林がよく見え、その西側には市民農園、茶畑と入間らしい景観がつづいています。

裏の雑木林では、夏には子供と一緒にカブトムシをとり、秋

た折、話題が環境になったとき、加治丘陵保全をはじめとして環境に対しての情熱を伺うことができた。入間市の環境のすばらしさを多くの人に語ってきた。15万都市でこれだけ環境テーマがある市はめずらしいし、創造性のある新しいシステムが生まれてくると思っております。

先日、入間市と狭山市の境界で電気ゴタツを捨てようとした人がいた。どこから聞いても黙ったまま、『今どこに行っても捨てられそうところは無いでしょう』というので、八王子から捨て場を探してこんなところまで来た、参ったよと話した。せっかくなので産廃法の話をした。そんな彼もきれいな場所には捨てたくないと思っている。捨てるな・という看板より、捨てられないという「心の環境まちづくり」を楽しみに行動してみたい。

(仏子ニュータウン 川幡正二)

には落ち葉をかき集めて餌集め(ペランダで31匹のカブトムシの幼虫を飼っている)。昨年の秋には、林の隅っこに落ち葉を集めて山をつくってみました。たぶん今年はその産卵場所になつてくれるだろうと楽しみにしています。また、たまに散策をして気分一新。日ごとに緑が増えていく新緑のころはとくに気持ちがいいものです。真夏の

▼住宅地の平地林



暑いときに深い緑の林の横を歩いていて感じる涼風も、実に心地よくまさに天然クーラーです。早起きした朝には、木々の気が立ち込めているような新鮮な空気を感ずることもできます。落ち葉でいっぱいになった地面を踏む感触とその匂いから寒い冬がやってくることを感じることもできます。

私の雑木林との関わりは、実は日常の出来事と一方的な思いこみでしかないのです。しかし、もしここにこの雑木林がなかったらと考えると、現在のその存在のありがたさを感じます。なにげない雑木林ですが、計画された公園よりはるかに豊かさを感じます。幸運にも入間の市街地にもまだこのような雑木林

が点在しています。そしてこの緑を大切にしていきたいものです。それにはもう少し雑木林との関わりを深めていくことが大切だろうと思っております。(東町・宮越喜彦)

◀建設中の健康福祉センター 北側の平地林 保全と活用のワークショップ が行われている。



環境市民団体と学校のパートナーシップ

学校ピオトープは、地域の自然を再現することによりその成長ややってくる生き物の観察を通して、生態系や地域とのつながりを勉強する教材として注目されています。

しかし、その目的や活用方法を十分に検討しないまま、なかには、自然の仕組みそのものを理解せず、一部の人間で創ってしまうことが多く、何年かするとやっかいものになっている例が多くあります。

東金子小学校では、三年間かけて「学校ぐるみ、地域ぐるみの学校ピオトープ」に取り組んでいます。私達の会は、二〇〇〇年から先生方とピオトープづくりの進め方や、その後の活用などについて何度も話し合いを重ねてきました。一度目は先生方の、二年度目は子供達やPTAの勉強の年で、自然やピオトープとは何かという勉強会や学校ピオトープ先進校の視察会をするなどの手伝いをしてきました。

今年はいよいよ子供達がピオトープ構想を練り上げ、実行に移す年です。どんな生き物呼びピオトープにするのか決める過程で、私たちも授業に加わりました。子供達から「ウグイスを呼びたいけどA君が呼びたいタカに食べられてしまう」「メ



▲ピオトープ設計図の発表会

東金子小学校のピオトープづくり

ダカは連れてこなければならぬが、それは良いことなのだろうか……等々。

私達は、子供達自身の問題を解決していくよう先生とコンビを組んで自然の仕組みや決まりに気づいてもらえる工夫をしました。

七月十日には、各クラスでまとめたピオトープ設計図の発表会が盛大に行われました。ピオトープが完成してもすぐに卒業してしまう六年生に、会員の一人が「残念だね」と声をかけたら、「中学生

になっても見にくるよ」という答えが返ってきたそうです。海外では、荒れた学校の立て直しにも、「全校で取り組む「学校ピオトープ」が注目されているのだそうです。

日比 章子

初めて、環境まちづくり会議に参加

入間市環境展

去る六月九日曜日に、環境月間（六月）にちなんだ事業としてリサイクルプラザで開催されました。

昨年までは、市役所で開催されていましたが、今年度は、毎

■運営委員が変わりました

民間団体から運営委員になっていただいた方々が改選されました。

	旧	新
入間市衛生自治会	橋本 康平氏	樋田 凡夫氏
入間市PTA連合会	宇田 繁義氏	山崎 洋治氏
入間市連合区長会	小田島 貞榮氏	関町 光雄氏

編 集 後 記

月第二土曜日の「リサイクルの日」にリサイクルプラザで開催される催しに併せて開催したことで、より多くの人に入間市の自然や環境の現状、市民・事業者の取り組みを知っていただきました。

当日は、環境まちづくり会議や市内の環境団体活動紹介の展示や市の環境課やみどりの課、農政課、商工課、下水道管理課など行政の取り組みも、エコクッキング、廃油によるリサイ

ワールドカップも終り、梅雨も明け、いよいよ夏の本番です。

ところで、皆さんはワールドカップを観戦し応援されましたか？ 私は、会社を休んで日本戦を応援していましたが、韓国戦を見ていて気付いた事が有りました。

街頭で観戦、応援していた日本人サポーターの立ち去った後のゴミが多く見られ、韓国サポーターの方の応援後は、ほとんどゴミが見あたりませんでした。それと、わたしは車で通勤していますが、タバコやティッシュなどのポイ捨てがけっこう見られ、特に火の付いたタバコの投げ捨ては目を疑います。

「いい大人の人が何でポイ捨てするの か」とインタビュして見たいと思うところですよ。

これからも、どんどん暑くなりますので、お身体には充分に気を付けて下さい。今後も、より充実した内容の会報を作っていくので、是非、皆さんのご意見ご希望を事務局までお寄せ下さい。

井上

クル石けん作り、クイズラリーなどさまざまな催しが行われました。会場には、ミニフリーマーケットや子供用自転車抽選販売などに訪れた人が、ついでに立ち寄るケースも見受けられ、多くの人で賑わいました。

■会員の皆さんより声を募集しています。

またこの会に対する、ご意見ご要望がございましたら、お寄せ下さい。

入間市環境まちづくり会議

事務局：入間市役所環境経済部環境課
住所：〒358-8511 入間市豊岡1丁目16番1号
TEL：042-964-1111(内線1241,1243)
FAX：042-965-0232
E-mail：kankyo@city.iruma.saitama.jp

●会員数	(平成14年8月現在)	人
408人		
内訳		
	市民	160
	事業者	171
	民間団体	50
	行政関係	27